

第57回法人企業景気予測調査

(平成30年4~6月期調査)



BSI(Business Survey Index)の計算方法

例「景況判断」の場合

前期と比べて

「上昇」と回答した企業の構成比……40.0%

「不变」と回答した企業の構成比……25.0%

「下降」と回答した企業の構成比……30.0%

「不明」と回答した企業の構成比……5.0%

$$\text{BSI} = (\text{「上昇」と回答した企業の構成比 } 40.0\%) - (\text{「下降」と回答した企業の構成比 } 30.0\%) = 10.0\% \text{ ポイント}$$

【財務部】

NO.2

▶ 調査の概要

調査の目的

本調査は、企業活動の現状と先行き見通しに対する経営者の判断を調査し、経済・財政政策運営の基礎資料を得ることを目的として、統計法に基づく一般統計調査として年4回(2、5、8、11月)実施。

調査の時点 平成30年5月15日

調査対象期間

判断項目:30年4~6月期及び6月末見込み、
30年7~9月期及び9月末見通し、
30年10~12月期及び12月末見通し

計数項目:30年度上期実績見込み、30年度下期見通し

調査対象企業の範囲

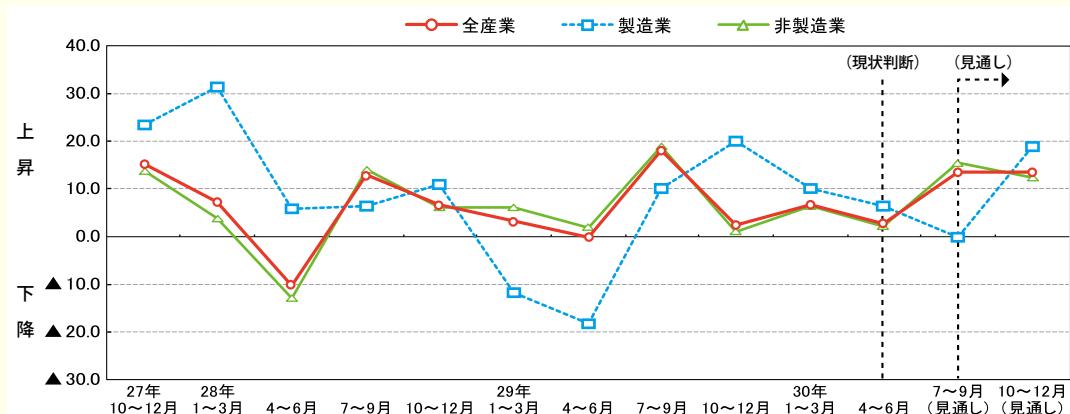
沖縄県内に所在する資本金、出資金又は基金(以下「資本金」という。)1千万円以上(電気・ガス・水道業及び金融業、保険業は資本金1億円以上)の法人
調査対象企業数及び回収状況は次のとおりである。

対象企業数:121社 回答企業数:112社 回収率:92.6% (単位:社)

	対象企業数	回答企業数	回収率(%)
全産業	121	112	92.6
製造業	17	16	94.1
非製造業	104	96	92.3
建設業	16	14	87.5
情報通信業	8	7	87.5
運輸業、郵便業	9	9	100.0
卸売業、小売業	19	17	89.5
サービス業	18	16	88.9
大企業(資本金10億円以上)	20	20	100.0
中堅企業(資本金1億円以上10億円未満)	34	31	91.2
中小企業(資本金1千万円以上1億円未満)	67	61	91.0

▶ 景況判断

企業の景況判断BSI(%ポイント)



企業の景況判断BSI(原数値)

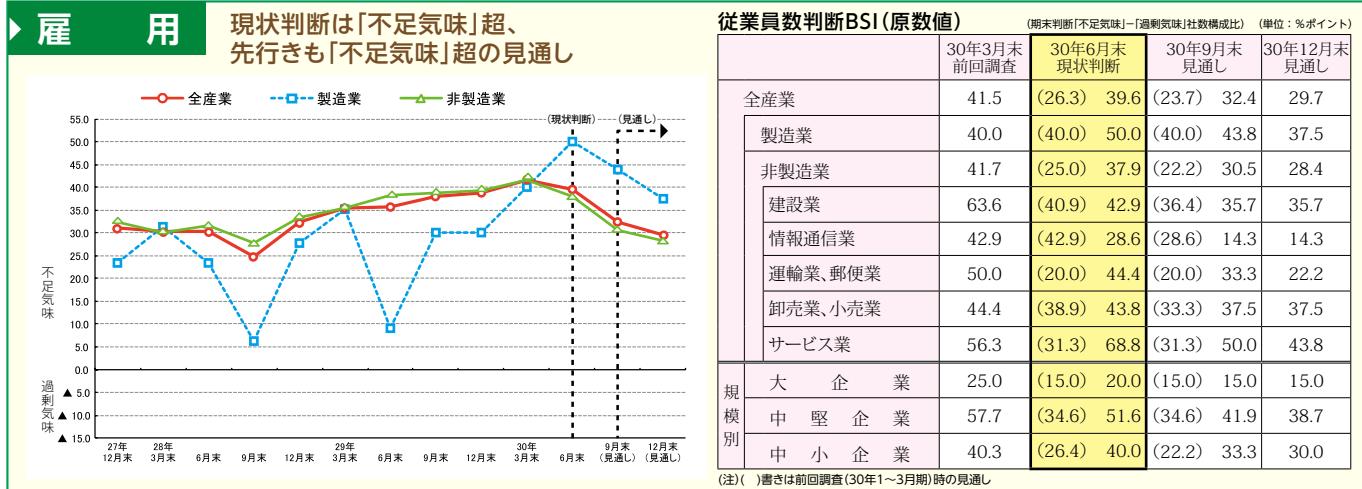
(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

(単位: %ポイント)

	30年1~3月 前回調査	30年4~6月 現状判断	30年7~9月 見通し	30年10~12月 見通し
全産業	6.6	(5.7)	2.7	(12.3)
製造業	10.0	(0.0)	6.3	(▲10.0)
食料品製造業	▲33.3	(33.3)	0.0	(0.0)
非製造業	6.3	(6.3)	2.1	(14.3)
建設業	43.5	(8.7)	7.1	(8.7)
情報通信業	▲28.6	(0.0)	▲28.6	(0.0)
運輸業、郵便業	20.0	(▲10.0)	22.2	(10.0)
卸売業、小売業	▲19.0	(19.0)	0.0	(38.1)
サービス業	6.3	(0.0)	▲6.3	(12.5)
規 模 別	大企業	▲10.0	(10.0)	25.0
	中堅企業	3.8	(15.4)	▲6.5
	中小企業	11.8	(1.3)	0.0

(注)()書きは前回調査(30年1~3月期)時の見通し

現状判断は「上昇」超幅が縮小、
先行きは「上昇」超幅で推移する見通し



	30年3月末 前回調査	30年6月末 現状判断	30年9月末 見通し	30年12月末 見通し
全産業	41.5	(26.3)	39.6	(23.7) 32.4
製造業	40.0	(40.0)	50.0	(40.0) 43.8
非製造業	41.7	(25.0)	37.9	(22.2) 30.5
建設業	63.6	(40.9)	42.9	(36.4) 35.7
情報通信業	42.9	(42.9)	28.6	(28.6) 14.3
運輸業、郵便業	50.0	(20.0)	44.4	(20.0) 33.3
卸売業、小売業	44.4	(38.9)	43.8	(33.3) 37.5
サービス業	56.3	(31.3)	68.8	(31.3) 50.0
規模別				
大企業	25.0	(15.0)	20.0	(15.0) 15.0
中堅企業	57.7	(34.6)	51.6	(34.6) 41.9
中小企業	40.3	(26.4)	40.0	(22.2) 33.3
30年12月末見通し	29.7	37.5	28.4	35.7

(注) ()書きは前回調査(30年1~3月期)時の見通し

